



学校ホームページ  
QRコード

学校だより

校訓「自主 練磨 敬愛」

# ほほえみ

倉敷市立玉島北中学校  
第33号  
令和5年12月4日

教育目標 人格の完成をめざし ともに学び 思いやりの心をもち  
たくましく生きる生徒を育成する

期末テストが終わり、2学期も残り3週間となりました。12月は「師走」ともいい、歳末セール、新年を迎えるにあたっての大掃除など、多くの人が忙しい時期です。皆さんにとっても、学期の終わりのまとめや3学期に向けての準備などに頑張ることと思います。1年の最後の月の12月が有終の美となるように大切に生活してください。

12月は日暮れが最も早い時期のため、最終下校時刻が16:45になります。日暮れ時は薄暮と言われ、周りが見えにくい時間帯です。自転車から車は認識できるのですが、車から歩行者や自転車が認識しにくくなります。しかし夜光ダスキを着用していると、車からよく認識でき安全性が増します。部活動が終わって下校するときは、全員着用できており安心してあります。用事があって下校が遅くなりそうときや、家に帰って塾に行くとき、買い物に行くときなどは、自分の安全を守るために夜光ダスキの着用をお願いします。

11月24日、1年生は道徳や学級活動を通して、DVDの視聴やワークシート、パンフレットで学習をしたことを踏まえ、長島愛生園歴史館の方からハンセン病についての講演をしていただきました。現在ハンセン病は薬によって完全に治る病気ですが、昔はハンセン病に効く特效薬がないため、顔や手足などの見えるところに後遺症が残る、他の人から偏見や差別、いじめを受けることになりました。初めて知ったことや事実を知って改めて考えたことも多くあり、確認するように熱心にメモをとることができました。先生の話を通して、自分から学んだり、考えたりする姿は玉島北中学校の良いところです。



話を聞いてメモを取りました。よい学びができました。

昭和24年から毎年、人権啓発活動を強化して行っている人権週間は、4～10日までの1週間です。今回の人権講演会では、ハンセン病に特化した内容でしたが、他にもいじめや虐待、インターネットの人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、同和問題など多様な人権問題は、現在も社会問題として残っています。これらの問題を解決するには、自分以外の誰かのことでなく、「自分ごと」として捉え、お互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めていく必要があります。玉島北中学校の校訓の「敬愛」は大切なキーワードです。

期末テストに向け、家庭での学習を一生懸命に取り組んだことでしょう。テスト当日、職員朝礼が終わり、学年フロアに早めに行ったところ、1年1組では全員が着席し、静かにテスト勉強を行っていました。1年7組では8:20の予鈴に合わせて朝の会を行っていました。他のクラスもベイや教室で友達と勉強をしている様子が見られました。普段にも増してテストにかける思いや生活を整えようとする気概を感じました。

3年11組は入試に向けて面接練習を行いました。志望理由や高校で頑張りたいことなどを自分の言葉で表現することができました。とても素晴らしい対応でした。自信をもって試験に臨んだことでしょう。話し方と共に服装や髪型など整っていると、面接官に与える印象もよくなります。

テストの日、強風が吹き、多くの自転車が倒れました。たくさんの3年生の男子が、倒れた自転車をもとに直す様子が見られました。大変助かりました。ありがとうございました。